



柳川範之

東京大学大学院経済学研究科教授

専門は契約理論、法と経済学。1988年慶應義塾大学経済学部卒業、1993年東京大学大学院経済学研究科博士課程修了、博士号取得、1993年慶應義塾大学経済学部専任講師、1996年東京大学大学院経済学研究科助教授、2007年同准教授、2011年より現職。2013年日本経済学会石川賞受賞。主な著書に、『会社法の経済学』（共編著）（東京大学出版会、1998年。第42回日経・経済図書文化賞受賞）『契約と組織の経済学』（東洋経済新報社、2000年）、『法と企業行動の経済分析』（日本経済新聞出版社、2006年。第50回日経・経済図書文化賞受賞）、『フリーコピーの経済学』（共著）（日本経済新聞出版社、2008年）、『東大柳川ゼミで経済と人生を学ぶ（日経ビジネス人文庫）』（日本経済新聞出版社、2015年）、『ブロックチェーンの未来』（共編著）（日本経済新聞出版社、2017年）、『人工知能は日本経済を復活させるか』（編著）（大和書房、2017年）など多数。総合研究開発機構（NIRA）理事、日本応用経済学会理事、法と経済学会理事など。